# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日


上場会社名　株式会社ニップン　上場取引所　東
コード番号　2001　ＵＲＬ　https://www.nippn.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）大田尾　亨
問合せ先責任者　（役職名）広報部長　（氏名）片岡　秀晃　TEL　03-3511-5307

半期報告書提出予定日　2026年11月９日　配当支払開始日　2026年12月２日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 213,509 | 2.7 | 8,440 | △22.6 | 9,975 | △18.1 | 10,226 | 9.7 |
| 2026年３月期中間期 | 207,903 | 1.5 | 10,908 | 3.6 | 12,183 | 0.8 | 9,323 | △33.6 |

（注）包括利益　2027年３月期中間期　9,593百万円（△24.6%）　2026年３月期中間期　12,724百万円（△31.1%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 123.71 | 123.61 |
| 2026年３月期中間期 | 112.85 | 108.28 |

（注）2026年３月期第３四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年３月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 475,911 | 296,557 | 60.7 |
| 2026年３月期 | 476,826 | 289,877 | 59.2 |

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　288,850百万円　2026年３月期　282,330百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | － | 33.00 | － | 35.00 | 68.00 |
| 2027年３月期 | － | 34.00 | | | |
| 2027年３月期（予想） | | | － | 34.00 | 68.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 430,000 | 2.8 | 19,500 | △11.7 | 21,000 | △15.6 | 21,200 | △2.8 | 256.47 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 84,727,163株 | 2026年３月期 | 84,727,163株 |
| ② 期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 2,048,117株 | 2026年３月期 | 2,066,083株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 82,671,863株 | 2026年３月期中間期 | 82,617,156株 |

（注）期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）が保有する当社株式（2027年３月期中間期208,400株、2026年３月期　219,500株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2027年３月期中間期　213,950株、2026年３月期中間期　222,700株）。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料５ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）中間連結貸借対照表 …… 6
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 8
中間連結損益計算書 …… 8
中間連結包括利益計算書 …… 9
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 12
（セグメント情報等の注記） …… 13

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

（単位：百万円）

| | 前中間<br>連結会計期間 | 当中間<br>連結会計期間 | 増減額 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|
| 売 上 高 | 207,903 | 213,509 | 5,605 | 102.7% |
| 営業利益 | 10,908 | 8,440 | △2,468 | 77.4% |
| 経常利益 | 12,183 | 9,975 | △2,208 | 81.9% |
| 親会社株主に<br>帰属する<br>中間純利益 | 9,323 | 10,226 | 903 | 109.7% |

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境に改善傾向が見られる一方で、中東情勢の緊迫化を背景とした原油などのエネルギー価格が高水準で推移しております。さらに、原油の供給不安等に起因する資材調達コストの上昇も重なり、物価高による個人消費の落ち込みや企業収益への圧迫が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、地政学リスクや為替変動などの複合的な要因を背景に、原材料価格や物流費が高騰しており、コスト上昇の吸収に向けた合理化や、付加価値の高い商品づくりがこれまで以上に求められております。また、2027年４月より２年間限定で、飲食料品に適用される消費税率を現行の８％から１％へ引き下げる法案が閣議決定され、法制化に向けた手続きが進められています。この税率変更により、食品業界の需要動向等に影響が生じる可能性があるため、引き続き動向を注視してまいります。

このような状況下、当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、企業価値の持続的な向上に努めております。

当社は、2026年９月26日をもちまして創立130周年を迎えました。これまで長きにわたり培った“おいしさ”と“笑顔”を生み出す技術力および揺るぎない信頼を礎として、さらなる成長と企業価値の向上に向けて取り組んでまいります。

当中間連結会計期間におきましては、冷凍ワンプレート分野で新マスターブランド「ニップン彩りごはん。」を立ち上げました。同ブランドを、「オーマイプレミアム」と並ぶ、当社を牽引するマスターブランド戦略の柱と位置づけ、冷凍食品事業のさらなる成長に繋げてまいります。

また、バレーボール国内最高峰のSVリーグに参戦する男子プロバレーボールチーム「フラーゴラッド鹿児島」とプリンシパル・パートナー契約を締結いたしました。今後はユニフォーム等へのロゴ掲出を通じてブランドの発信力を強化するとともに、チームとの共創を通じた地域社会への貢献に取り組んでまいります。

これらの施策により、当社ブランドの市場競争力の一層の強化と収益基盤の安定化を図るとともに、企業価値の向上に努めてまいります。

2026年10月には、中央研究所と開発本部を統合し、新たに「研究開発本部」を設置いたしました。今回の組織再編と、2027年春以降に予定している新拠点「ニップンR&Dセンター」への移転を通じて、研究開発基盤の強化およびオープンイノベーションを推進し、新たな価値の創造と持続的な事業成長に繋げてまいります。

当中間連結会計期間の連結業績につきましては、販売数量が堅調に推移したことに加え、価格改定を実施したことにより、売上高は2,135億９百万円（前年同期比102.7%）となりました。利益面では、各事業において原材料費や人件費、物流費をはじめとする諸コストの増加が先行したことや新工場稼働に伴う償却負担増があったことにより、営業利益は84億４千万円（同77.4%）、経常利益は99億７千５百万円（同81.9%）となりました。一方で、政策保有株式の縮減方針に基づき投資有価証券を売却したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は102億２千６百万円（同109.7%）となりました。

なお、前第３四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

事業別の状況は次のとおりです。

①製粉事業

（単位：百万円）

| | 前中間<br>連結会計期間 | 当中間<br>連結会計期間 | 増減額 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|
| 売 上 高 | 60,303 | 59,909 | △394 | 99.3% |
| 営業利益 | 4,677 | 3,835 | △842 | 82.0% |

製粉事業については、販売は堅調に推移し出荷は前年を上回ったものの、外国産小麦の政府売渡価格が引き下げられたことに伴う価格改定の影響があったことから、売上高は599億９百万円（前年同期比99.3%）、営業利益は38億３千５百万円（同82.0%）となりました。

なお、外国産小麦の政府売渡価格が本年４月から改定され、また物流費・人件費等が上昇していることから、本年６月下旬より業務用小麦粉の価格を改定しております。

②食品事業

（単位：百万円）

| | 前中間<br>連結会計期間 | 当中間<br>連結会計期間 | 増減額 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|
| 売 上 高 | 122,203 | 126,357 | 4,153 | 103.4% |
| 営業利益 | 4,928 | 3,223 | △1,705 | 65.4% |

業務用食品については、国内の販売が堅調に推移したことや為替換算の影響により、売上高は前年を上回りました。

家庭用食品については、「もちっとおいしいスパゲッティ」や「極上アルデンテがおいしいスパゲッティ」の販売数量が伸長したことに加え、冷凍食品でも「オーマイプレミアム」シリーズおよび１食完結型のトレー入り「よくばり」シリーズの販売数量が堅調に推移したことから、売上高は前年を上回りました。2026年10月からは、「ニップン 彩りごはん。」シリーズとして、冷凍ワンプレートをより多くのお客様にお届けすることを目指してまいります。

中食事業については、消費者の節約志向が高まっていることから、売上高は前年を下回りました。

以上により、食品事業の売上高は1,263億５千７百万円（前年同期比103.4%）、営業利益は32億２千３百万円（同65.4%）となりました。

③その他事業

（単位：百万円）

| | 前中間<br>連結会計期間 | 当中間<br>連結会計期間 | 増減額 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|
| 売 上 高 | 25,396 | 27,243 | 1,846 | 107.3% |
| 営業利益 | 1,294 | 1,400 | 106 | 108.3% |

ペットケア事業については、各種コストの上昇により価格改定を実施したことから、売上高は前年を上回りました。

外食事業については、販売が好調に推移したことから、売上高は前年を上回りました。

エンジニアリング事業については、大口工事の引き合いが増加した結果、売上高は前年を上回りました。

以上により、その他事業の売上高は272億４千３百万円（前年同期比107.3%）、営業利益は14億円（同108.3%）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（単位：百万円）

| | 2026年３月期 | 2026年９月期 | 増減額 |
|---|---|---|---|
| 流動資産 | 194,203 | 185,492 | △8,711 |
| 固定資産 | 282,534 | 290,339 | 7,805 |
| 繰延資産 | 88 | 79 | △9 |
| 資産 合計 | 476,826 | 475,911 | △915 |
| 流動負債 | 82,786 | 76,471 | △6,314 |
| 固定負債 | 104,162 | 102,882 | △1,280 |
| 負債 合計 | 186,949 | 179,353 | △7,595 |
| 純資産 | 289,877 | 296,557 | 6,680 |
| 負債・純資産 合計 | 476,826 | 475,911 | △915 |

当中間連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ９億１千５百万円減少し、4,759億１千１百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が41億５千５百万円、その他の投資その他の資産が37億６千５百万円増加したこと、並びにその他の流動資産が49億８千９百万円、商品及び製品が37億７千１百万円、現金及び預金が15億５千８百万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ75億９千５百万円減少し、1,793億５千３百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が37億３千８百万円、その他の流動負債が13億９千９百万円、長期借入金が９億１千９百万円、未払法人税等が７億２千９百万円、短期借入金が４億３千万円、その他の固定負債が３億２千７百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ66億８千万円増加し、2,965億５千７百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が73億２千万円、為替換算調整勘定が２億３千７百万円増加したこと、並びにその他有価証券評価差額金が６億２千２百万円、退職給付に係る調整累計額が３億９千９百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）

| | 前中間<br>連結会計期間 | 当中間<br>連結会計期間 | 増減額 |
|---|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,000 | 8,908 | △91 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △13,496 | △7,621 | 5,875 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 5,378 | △4,475 | △9,853 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △463 | 73 | 537 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 418 | △3,114 | △3,532 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 41,890 | 61,108 | 19,218 |

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ31億１千４百万円減少し、611億８百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動によるキャッシュ・フローは、89億８百万円の収入となりました（前年同期は90億円の収入）。この主な要因は、税金等調整前中間純利益が148億７千９百万円、減価償却費が67億６千４百万円となったこと、並びに法人税等の支払額が51億５百万円、投資有価証券売却益が49億６千６百万円、棚卸資産の減少額が31億７千４百万円、仕入債務の減少額が37億７千８百万円となったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動によるキャッシュ・フローは、76億２千１百万円の支出となりました（前年同期は134億９千６百万円の支出）。この主な要因は、投資有価証券の売却による収入が54億４千８百万円、有価証券の売却及び償還による収入が40億円、並びに固定資産の取得による支出が127億５千７百万円、有価証券の取得による支出が40億円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動によるキャッシュ・フローは、44億７千５百万円の支出となりました（前年同期は53億７千８百万円の収入）。この主な要因は、配当金の支払額が29億６百万円、短期借入金が７億６千万円減少したこと、並びに長期借入金の返済による支出が5億８千８百万円となったことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
通期の業績につきましては、2026年５月12日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値を据え置いております。
また、配当につきましても、当初予想の１株当たり年間68円の予定から変更はございません。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 69,173 | 67,615 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 57,818 | 58,797 |
| 商品及び製品 | 29,696 | 25,925 |
| 仕掛品 | 98 | 331 |
| 原材料及び貯蔵品 | 23,116 | 23,506 |
| その他 | 14,325 | 9,336 |
| 貸倒引当金 | △26 | △20 |
| 流動資産合計 | 194,203 | 185,492 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 62,065 | 61,180 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 28,532 | 32,336 |
| 土地 | 48,752 | 48,742 |
| 建設仮勘定 | 14,155 | 15,213 |
| その他（純額） | 3,997 | 4,185 |
| 有形固定資産合計 | 157,502 | 161,658 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,517 | 1,336 |
| その他 | 1,352 | 1,521 |
| 無形固定資産合計 | 2,869 | 2,857 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 102,647 | 102,544 |
| その他 | 19,733 | 23,498 |
| 貸倒引当金 | △219 | △218 |
| 投資その他の資産合計 | 122,161 | 125,823 |
| 固定資産合計 | 282,534 | 290,339 |
| 繰延資産 | 88 | 79 |
| 資産合計 | 476,826 | 475,911 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 35,107 | 31,368 |
| 短期借入金 | 15,820 | 15,389 |
| 未払法人税等 | 5,158 | 4,428 |
| 賞与引当金 | 1,027 | 1,010 |
| その他 | 25,672 | 24,273 |
| 流動負債合計 | 82,786 | 76,471 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 20,000 |
| 長期借入金 | 43,249 | 42,329 |
| 退職給付に係る負債 | 4,210 | 4,198 |
| 役員退職慰労引当金 | 371 | 349 |
| 役員株式給付引当金 | 150 | 150 |
| その他 | 36,180 | 35,853 |
| 固定負債合計 | 104,162 | 102,882 |
| 負債合計 | 186,949 | 179,353 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 18,670 | 18,670 |
| 資本剰余金 | 16,244 | 16,240 |
| 利益剰余金 | 187,106 | 194,427 |
| 自己株式 | △4,751 | △4,722 |
| 株主資本合計 | 217,270 | 224,616 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 52,661 | 52,039 |
| 繰延ヘッジ損益 | 30 | △10 |
| 為替換算調整勘定 | 5,652 | 5,890 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 6,714 | 6,314 |
| その他の包括利益累計額合計 | 65,059 | 64,233 |
| 新株予約権 | 98 | 92 |
| 非支配株主持分 | 7,448 | 7,614 |
| 純資産合計 | 289,877 | 296,557 |
| 負債純資産合計 | 476,826 | 475,911 |

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 207,903 | 213,509 |
| 売上原価 | 155,695 | 162,338 |
| 売上総利益 | 52,208 | 51,171 |
| 販売費及び一般管理費 | 41,299 | 42,731 |
| 営業利益 | 10,908 | 8,440 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 307 | 463 |
| 受取配当金 | 1,318 | 1,297 |
| その他 | 277 | 605 |
| 営業外収益合計 | 1,903 | 2,366 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 237 | 565 |
| 持分法による投資損失 | 186 | 61 |
| その他 | 204 | 204 |
| 営業外費用合計 | 628 | 831 |
| 経常利益 | 12,183 | 9,975 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 1,753 | 4,955 |
| 特別利益合計 | 1,754 | 4,955 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 35 | 46 |
| 災害による損失 | 113 | － |
| 投資有価証券評価損 | － | 4 |
| その他 | 50 | 0 |
| 特別損失合計 | 200 | 50 |
| 税金等調整前中間純利益 | 13,737 | 14,879 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,064 | 4,298 |
| 法人税等調整額 | 131 | 169 |
| 法人税等合計 | 4,195 | 4,468 |
| 中間純利益 | 9,542 | 10,411 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 218 | 184 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 9,323 | 10,226 |

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 9,542 | 10,411 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,641 | △625 |
| 繰延ヘッジ損益 | 40 | △43 |
| 為替換算調整勘定 | △1,007 | 124 |
| 退職給付に係る調整額 | △195 | △399 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △295 | 126 |
| その他の包括利益合計 | 3,182 | △818 |
| 中間包括利益 | 12,724 | 9,593 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 12,490 | 9,401 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 234 | 192 |

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 13,737 | 14,879 |
| 減価償却費 | 5,257 | 6,764 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △19 | △7 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,625 | △1,761 |
| 支払利息 | 237 | 565 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △1,764 | △4,966 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | － | 4 |
| 持分法による投資損益（△は益） | 186 | 61 |
| 為替差損益（△は益） | 78 | 28 |
| 固定資産売却損益（△は益） | 7 | 0 |
| 固定資産除却損 | 32 | 57 |
| 災害による損失 | 113 | － |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 938 | △951 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △3,872 | 3,174 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △3,174 | △3,778 |
| その他 | 1,534 | △1,293 |
| 小計 | 11,666 | 12,779 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,647 | 1,793 |
| 利息の支払額 | △157 | △558 |
| 法人税等の支払額 | △4,156 | △5,105 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,000 | 8,908 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額（△は増加） | △959 | △1,602 |
| 有価証券の取得による支出 | △2,000 | △4,000 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | － | 4,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △162 | △352 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 1,895 | 5,448 |
| 固定資産の取得による支出 | △13,007 | △12,757 |
| 固定資産の売却による収入 | 12 | 0 |
| 貸付けによる支出 | △968 | △9 |
| 貸付金の回収による収入 | 8 | 1,599 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 1,743 | － |
| その他 | △58 | 50 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △13,496 | △7,621 |

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △584 | △760 |
| 長期借入れによる収入 | 21,300 | － |
| 長期借入金の返済による支出 | △839 | △588 |
| 転換社債型新株予約権付社債の償還による支出 | △11,600 | － |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △1 |
| 自己株式の売却による収入 | 11 | 20 |
| リース債務の返済による支出 | △187 | △212 |
| 配当金の支払額 | △2,588 | △2,906 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △28 | △26 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △104 | － |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 5,378 | △4,475 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △463 | 73 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 418 | △3,114 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 41,471 | 64,222 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 41,890 | 61,108 |

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額（注）２ | 中間連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 製粉事業 | 食品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 60,303 | 122,180 | 182,484 | 24,902 | 207,386 | － | 207,386 |
| その他の収益 | － | 23 | 23 | 493 | 517 | － | 517 |
| 外部顧客への売上高 | 60,303 | 122,203 | 182,507 | 25,396 | 207,903 | － | 207,903 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,426 | 468 | 1,894 | 1,654 | 3,548 | △3,548 | － |
| 計 | 61,730 | 122,671 | 184,402 | 27,050 | 211,452 | △3,548 | 207,903 |
| セグメント利益 | 4,677 | 4,928 | 9,606 | 1,294 | 10,900 | 7 | 10,908 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額７百万円は、セグメント間取引消去額であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額（注）２ | 中間連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 製粉事業 | 食品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 59,909 | 126,334 | 186,243 | 26,751 | 212,995 | － | 212,995 |
| その他の収益 | － | 23 | 23 | 491 | 514 | － | 514 |
| 外部顧客への売上高 | 59,909 | 126,357 | 186,266 | 27,243 | 213,509 | － | 213,509 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,265 | 473 | 1,739 | 1,662 | 3,401 | △3,401 | － |
| 計 | 61,174 | 126,831 | 188,006 | 28,905 | 216,911 | △3,401 | 213,509 |
| セグメント利益 | 3,835 | 3,223 | 7,058 | 1,400 | 8,459 | △19 | 8,440 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去額であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．前第３四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。